

# 学生時代に触れたもの、出会った人、経験したことはすべて力となる

隈部 文 平成音楽大学こども(幼児音楽教育)学科教授

社会科学系(幼児音楽教育)

## 幼い頃から決めていた音楽の専門家という道

幼い頃からピアノを習っていたので、中学生あたりから既に「音楽を勉強したい」と思っていました。そのようなこともあり、進路も迷わず音楽大学に進みました。大学ではごく普通の音大生として過ごしました(笑)。寮生活の時は、起床後から朝食の時間まで練習。授業の空き時間や夕食後も、寮の点呼時間ぎりぎりまで練習をしていました。学生時代は大学の先生方や友達にも恵まれ、また、さまざまな音楽体験ができ、とても充実していました。このような環境で過ごせたことは本当に幸せだったと思います。

研究は『リトミック』を専門としています。リトミックとは「表現したい」気持ちを育てる音楽教育のことです。音楽を身体で表現していくのですが、音楽の変化に動きで応答することで感性を磨き、音楽的概念の獲得を促していきます。リトミックは、リズム運動、ソルフェージュ(音楽の基礎教育)、即興演奏から成り立っています。それぞれの分野での音と動きの関係、

リトミックが人に及ぼす影響を研究しています。

## 学生時代は「蓄積の時」。いろいろなことを吸収して

この仕事の魅力ややり甲斐は、学生と触れ合い、また彼らが育ち、どんどん良い方向へ変化していく姿を目の当たりにできること。また、日々大事にしているのは、お気に入りのマグカップで、毎朝コーヒー牛乳を飲むことです(笑)。このひとときを意識的に持つことで、一日を平安に過ごすことができます。

女子学生に伝えたいメッセージは「一生懸命に生きる!」ということ。興味や関心を持ったことは、とことん追求してってください。学生時代は「蓄積の時」です。触れたもの、体験したもの、目にしたもの、すべてが間違いみなさんの力となります。そのなかに無駄な経験というのはありません。ぜひ学生のうちにたくさんのモノや人、出来事に触れて、一生懸命に生きてください!



Aya KUMABE

音楽学部 研究所 演奏活動 音楽教育の現場 幼児教育の現場 大学教員

### One day

- 6:00 起床
- 8:00 大学へ
- 9:10~16:15 講義
- 16:30 会議
- 18:00 ピアノレッスン補講
- 19:00 講義のまとめ及び準備
- 21:00 帰宅・夕食
- 24:00 就寝

国際免許を取ったことが自信に繋がりました

◎座右の銘  
マイペースで自分のために、そして人のために・・・

### profile

くまべあや/国立音楽大学音楽学部教育音楽学科第Ⅱ類(リトミック)専攻卒業。卒業後、リトミック研究所に所属しながら東京や埼玉のリトミック教室で助手、講師を務める。帰熊後、音楽教室ピアノ講師、幼稚園・保育園のリトミック講師、合唱団ピアニスト、熊本YMCA学院・平成音楽大学・九州ルーテル学院大学の非常勤講師を経て現職。準音楽療法士取得、ダルクローズサーティフィケート国際免許保持者。



キャンパスを彩るイルミネーション



リトミックは19世紀末にスイスで開発された音楽教育の手法。子どもから大人まで自ら進んで学び、その感覚を体感的に身に付けていくための情操教育です



Q.今後仕事を続けていく上で、悩みや不安はありますか?  
ある 52%    ない 48%